

令和 8 年度 第 1 回生駒市環境マネジメントシステム推進会議

【議事要旨】

日時:令和 8 年 8 月 19 日(金) 9:30~11:00

場所:生駒市役所 大会議室

1. 配布資料

- ・ 資料1:環境審議会と環境マネジメントシステム推進会議について
- ・ 資料2:地球温暖化対策実行計画における温室効果ガス排出量の実績と目標
- ・ 資料3:令和7年度 of 取組状況について
- ・ 別紙1:生駒市環境基本計画等の関連計画に基づく取組状況調査について
- ・ 別紙 1-1 : 生駒市における地域脱炭素とコミュニティ活性化の取組
- ・ 別紙 1-2 : いこま SDGs アクションネットワークのご紹介
- ・ 別紙 1-3 : 生駒市の農業施策について
- ・ 別紙2-1:環境マネジメントシステムに係る職員のエコオフィス活動アンケート結果について<所属向け>
- ・ 別紙2-1:環境マネジメントシステムに係る職員のエコオフィス活動アンケート結果について<職員向け>

2. 出席者

区分	氏名
会長	矢田 千鶴子
副会長	松本 昌康
委員	塩谷 千佳子
委員	西村 薫
事務局	脱炭素まちづくり推進課長 木口 昌幸 脱炭素まちづくり推進課脱炭素まちづくり係長 島田 奈穂 脱炭素まちづくり推進課脱炭素まちづくり係係員 小濱 颯吾

3. 議事録

(1) 開会	
(2) 令和8年度のスケジュールについて	
事務局	資料 1 について説明。
松本委員	11月の環境審議会までに推進会議で評価をするが、もう一回推進会議を開催することは考えているか？
事務局	現時点では考えていない。この場で言いきれない質問・意見については、会議後に期間を定めて連絡していただきたい。その後、事務局と会長で結果報告書の案を取りまとめて確定していきたい。
矢田委員	去年同様にメールで意見を共有する形でよろしいか。
一同	異議なし。
(3)生駒市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)における温室効果ガス排出量の実績と目標について	
事務局	資料 2 について説明。

松本委員	どのように評価していけば良いか確認したい。
事務局	各課に取組状況を進捗確認したものは、事業項目ごとに A～D の自己評価をしている。評価に違和感がないかの意見や質問をいただきたい。
松本委員	資料2について、2030 年 50%削減という目標は現状のままで可能なのか？
事務局	現状のままで厳しい。
松本委員	厳しさを感じている中で、どのような対策をするのかよくわからない。また、目標値をどのようにして出してきたのかわからない。8年度の目標値をクリアするためにどのような施策を行うかを書き加えてもらえれば判断しやすい。
事務局	CO ₂ の数字は施設ごとの電気やガス、石油等を積算する形で計算しているため、計算過程を分かりやすく示すことが難しい。 目標の達成が難しい点について、暑さが年々厳しくなる中で、今年も前年度と比べて CO ₂ 排出量が増えることを危惧していたが、廃棄物に占めるプラスチック類の比率が大きく下がっていたため、前年度比で CO ₂ 排出量が下がる結果となった。 来年度の具体的な見込みは難しいが、来年度傾向が変わり CO ₂ が増えるとなれば、計画で定めた目安から外れ、詳細な分析をしていくことも考えている。
矢田会長	松本委員の懸念している点には事務局としても検討をしていただき、目標値は今年については当該の設定でいくことでよろしいか。
一同	異議なし。
(4)令和7年度の取組状況について	
事務局	別紙2、参考資料1-1、1-2、1-3について説明。
塩谷委員	別紙 1-1 について、卒 FIT 家庭の余剰電力の買取をいこま市民パワー株式会社(以下「ICP」という。)に変えていく事業は進んでいるのか。
事務局	順調に進んでいる。毎年数は増えており、200 件を超えている認識である。
塩谷委員	もっと利点を PR していけば、件数も増えるのではないかな。
矢田委員	この事業は基本的には対象エリアの自治会長には詳しく説明されているが、一般の市民への説明はなかなかできていない。対象自治会のみではなく、全世帯に対する呼びかけも必要になってくる。
事務局	卒 FIT の太陽光の関係は、市から補助金を交付した家庭に対し、個別にアンケートを実施しているため、確実に呼びかけできる。
矢田委員	補助金を利用せずに自主的に屋根置きされた方へのアプローチが一つの課題である。世間的にも卒 FIT の対象家庭が増えてきているため、必要な事業であるという認識。
松本委員	様々な補助金を出しているが、費用対効果がどの程度得られているかが知りたい。
事務局	脱炭素先行地域事業においては、太陽光＋蓄電池の3分の2の補助を出している。脱炭素先行地域事業は今後全国的に波及していくためのモデル事業のため、補助金をしっかり使う形で取り組んでいきたいと考えている。事業期間は来年度までのた

	め、現時点では 12 地区でしっかり事業に取り組んでいるという段階。
松本委員	現状、補助金の費用対効果について把握できていないということか。
事務局	モデル事業のため、現行の取組だけで評価するのではなく、他の地域に波及する事業モデルとして確立することに意味があると考えている。
松本委員	電力の切替は現状効果が出ていないということか。
事務局	昨年度 45 件の家庭が補助金を活用したが、切り替えできたのは1件のみ。今年の設備導入の補助申請が出てきており、これから施工される。その中で、事業者を通じて ICP の紹介をしてもらいたいと考えており、事業者が仲介しても ICP から3千円の支払いができるようになっている。
松本委員	ICP に切り替えなければ補助金を出さないように変更する方針はあるのか。
事務局	市としては過半数出資して設立した会社だが、一般の方としては一株式会社のため、供給を必須にすることは問題があるという認識である。あくまでご協力のお願という形。
矢田委員	ICP の認知度と信用度の問題となる。市が 51%出資して設立した会社のため、市民の役に立つ会社になってほしい。監査対象になっていないが、脱炭素を進めていくうえで重要な立ち位置のため、今後の活躍を期待したい。
事務局	脱炭素の関連するところで、C がついているところはモデル化できるように頑張っている最中という意味。
矢田委員	ICP が機能しだしたら、評価も改善し上向き傾向になるため、資料等をみながら評価をしていただけたらいい。 いこま SDGsアクションネットワーク(以下、「アクションネットワーク」という。)については、市民からは知られていないことが1点。アクションネットワークで市民対象の事業はあるが、市民を巻き込むことは今回が初めて。今後の取組であるリビングラボでは、ネットワーク会員ではない市民もこの中に参加できるようになっており、1歩進んだのではないかな。
(5)環境マネジメントシステムに係る職員のエコオフィス活動アンケートについて	
事務局	別紙2について説明。
松本委員	実施してもらうためにどこの部署がどのように働きかけていくのか。
事務局	継続的にやることに意義があると考えている。今回所属向けのアンケートを作成したことにより、各課の職員にとってアンケートを目にする機会が増え、環境を意識した仕事をしてもらえることに繋がると考えている。
松本委員	それが見えてこないように感じるがどうなのか。
事務局	課として自然にできていることが当然になっており、個人に当てはめると実施していないと答えをしてしまうケースもある。
矢田委員	アンケートを毎年1回実施し、項目を読むことが教育になっているという目的で行っているということを補足する。指定管理の回答率が低い、市の業務を代行しているとい

	う認識が欠けているように読み取れる。
松本委員	表現方法の提案だが、「取組が該当しない」との回答を分母から除いて集計した方が実態がわかりやすく、結果として「積極的に取り組んでいる」の割合が上がるのではないか
矢田委員	事務局で集計し直してほしい。
事務局	承知した。
(6) 今後のスケジュール等について	
事務局	本日中に意見を記載する様式を送付するため、9月4日(金)までに頂戴したい。皆様から頂いた意見を各課に照会して、取りまとめたものを再度皆様にお返しをする。それと共に監査結果報告書の案を矢田会長と事務局で調整のうえ作成し、各委員に共有し、ご意見を調整したのち報告書を確定していただきたい。
塩谷委員	資料3別紙1について、令和7年度を取組計画や目標記載がなく、令和7年度を取組結果に記載がある項目について、取組 No. 78 に令和7年度の評価の記載があるが、No.47、No.96 では評価がない。これらの区分けはどうなっているのか。
矢田委員	令和7年度の審議の中で、新規事業に関しては前年度の評価ができないので、評価欄を空欄にすることとした。新規事業の評価は削除という形で修正するべき。
事務局	修正する。
松本委員	令和8年度を取組計画の評価をするためにも、令和7年度を取組結果についてのエビデンスが示されていない。今回の農林課のような資料を全ての課で作成してくれたらありがたい。令和8年度を取組計画の設定にあたって、課題と改善方針に記載がないところは疑問に感じる。
矢田委員	前回よりも取組結果の数値が提示されるようになっているが、もう少しエビデンスとしてわかるものを提示してほしい。
事務局	今年度は、特に動きのあった分野を事務局で抽出して内容説明した。取組全体については広範にあたるので、エビデンスの提示には限界があることをご理解いただきたい。課題と改善方針については、必須の記入項目としていなかったが、なるべく埋まるように働きかけていく
矢田委員	9月4日までに事務局まで意見・質問を提出することとする。
塩谷委員	環境審議会の日程はいつごろに決まるのか。
事務局	11月頭頃開催予定のため、9月末から10月頭には決まる。
(7) 閉会	

以 上